

# 愛知国際病院ホスピスだより

2011. 1

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31  
電話 代 表 (0561)73-7721  
ホスピス (0561)73-3191

## 静かな存在感

理事長 川原 啓 美

いつも私どものホスピスのために祈り、その活動を支えてくださるみなさま、2011年の新年、明けましておめでとうございます。

愛知国際病院は1981年3月1日に開院し、今年で満30年になります。「神いやし、我ら仕える」をモットーに、地域社会のお一人お一人のために、医療と福祉の場でひたすら小さな働きを続けて参りました。すでに開院時を支えた第一世代は、井手院長を中心とする次の世代へと移っております。

私はこの年頭に当たり、「静かな存在感」という言葉をスタッフの皆さんと共有いたしました。それは、次の30年を迎えるためにどのようなことが必要かと、私なりに考えた結果であります。一つのチームを形成し生き活きと進めてゆくため、大切なことはそのチームのメンバーがそれぞれ自分の立場の意味を自覚し、その活動を発展させることでもあります。その際に必要なことは、自分の役割がチームの皆にもよく理解され、存在感を示すことであるのは言うまでもありません。言動によって強い印象を与え、この人ありと周囲に思わせる存在はとても重要であります。



しかしここで私が特に「静かな」と注釈をつけたのには意味があります。つまり、皆にしっかりアピールすることによってのみ、人は存在感を与えるのではない、と言いたいのです。例えばある行事が終わったあと、その場所の器物が何となくまだ片付いていないとします。そこで皆が、「ああ今日は彼女がいないからだ」ということに気付く、つまりその人がいないことではっきりその存在感を示すことがあるのです。

これはどこにでもあることで、特に病院のように「清潔と不潔の領域」をしっかり区別し、それを不断の注意で守っていくような所では極めて重要な存在です。

いつも静かにしているけれどもとても大切に、皆がそれを知っている。そんな人たちが複数いてチームをしっかり守り、そのチームが全体としてもどんどん成長してゆく、これは素晴らしいことです。

私がスタッフの皆さんと共有したかったのはこのような想いです。私たちは「仕える集団」として、このように今年からまた一步一步を進めるつもりです。皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

ホスピスでは、毎月一度、季節にあわせた行事を行います。午後の30分ほどの時間に、お菓子をいただいたり、ミニコンサートを催したりします。それらの準備は、看護師・看護助手が中心に行います。担当者の看護師に行事の様子や準備する上での思いについて聞きました。



ホスピスで行事を行う意味

ホスピスは、患者さん・ご家族にできるだけ自宅に近い雰囲気でも過ごしていただくことを目指しています。もし自宅にいれば、家族で正月を祝い、お花見をし、クリスマスケーキを食べるということは自然なことです。行事に参加することで、病気のことから離れ、自宅にいるときのように、心穏やかに、楽しく過ごしていただければと思っています。

ボランティアの協力

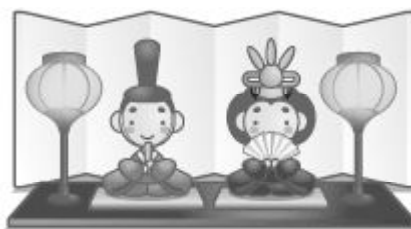
行事を催す上で大切にしているのは、「家庭的な雰囲気」、「生活感」を損なわないことなのですが、私たちスタッフはつつい患者さんの身体の状態を優先的に考え、「痛みのある方はないか」「えらそうで部屋に戻らなきゃいけない方はないか」と目を配ってしまいます。しかし、ボランティアは、私たちの目の配りきれていない患者さんにそっと歩み寄り、何気ない言葉をかけてくれます。また、行事は平日の昼に行うので、ご家族の中には参加できない方もいらっしゃいます。ボランティアはそんなご家族に代わって、患者さんが親しみやすく、楽しい時間を過ごせるように働きかけてくれています。

ある行事でのできごと

患者さん・ご家族がどのように過ごしておられるのかをご紹介します。ある患者さんは、意識の状態が低下し、目はしっかり開いているものの、言葉を発することができませんでした。しかし、看護師とご家族で相談し、病室ではなく、みなさんの集まるラウンジにベッドが出てきていただきました。行事が進行する間、患者さんは、ただ大きく目を見開いているだけでしたが、ご家族がふと顔を見ると、目から涙が流れていました。それを見て、ご家族も「ちゃんと分かるんだね」と言いながら一緒に泣いておられました。

行事をきっかけに深まる心の結びつき

私たちスタッフは、患者さん・ご家族と一緒に行事の時間を楽しませていただいています。とくに、病気の不安と緊張の中にいらっしゃる患者さん・ご家族が笑顔を見せて下さることは、私たちの喜びです。そのときの喜びを一緒に分かち合うことを通して、「患者—医療者」を超えた人と人との結びつきを感じることもあります。患者さん・ご家族も、スタッフへの親しみを感じ、安心して過ごして下さることになればと願っています。



行事について 水野寿美子師長より一言：大切にしたい「四季折々の風習」

私は毎月行われる行事の中で、「四季折々の風習」の素晴らしさを改めて感じます。ホスピスでは、その季節にあわせて、1月には鏡餅、3月には雛人形、5月には五月人形…といったものを飾り、ミニコンサートを催すときには、演奏家の方々がその季節にあわせた歌や音楽を演奏して下さっています。患者さんの世代や生活背景は異なっても、その雰囲気や、懐かしい歌には、何か共通して、患者さん方の内面に触れるものがあるようです。そうして、それぞれに幼かった頃のこと、若かった頃のことを回想することで、それまで忘れかけていた大切なものを再び思い起こされているようです。これからも行事を通して、このような「四季折々の風習」を大切にしていけることができればと思っています。

## ボランティアのクリスマス

ボランティアコーディネーター 高田 清子

ホスピスでは、毎月その季節にふさわしい行事をナースが企画し、ボランティアが協力をしています。中でも12月のクリスマス会は、たくさんの患者さんやご家族が参加して下さり、ボランティアにとっても特別な時になっています。

ボランティアは12月に入るとクリスマスの飾りつけを始めます。ツリーやリース、タペストリーやポインセチアの鉢植えなど、毎日少しずつ飾りが増え、クリスマスらしい雰囲気を整えられていきます。また、クリスマスカードや招待状、プレゼントなどもボランティアが作ります。担当するボランティアは、ずいぶん前からあれこれと頭の中でアイデアを暖めているようです。そして1週間前に、患者さんに招待状を配り、ポスターも貼ってクリスマス会のお知らせをします。お菓子はボランティアが自宅などで作り、当日までにホスピスに持ち寄ります。今年はケーキとクッキー、ゼリーのほか、クリスマス菓子のシュトーレンとパネトーネも作りました。

クリスマス会当日は、会場となる2階ラウンジに暗幕を張ったり、テーブルを並べてそこにアレンジした生花やお菓子、キャンドルなどを飾ります。そしてお菓子とお茶の準備をして患者さんにご家族をお待ちします。開会



後は、ボランティアは茶菓をサービスしたり、患者さんに付き添ったりしつつ、患者さんやご家族と一緒に、牧師先生のクリスマスメッセージをお聴きし、ドクターやナースの歌や踊り・ハンドベルの演奏などを楽しみます。熱演するスタッフのいつもとは違う姿が新鮮で、ひとつ終わるごとに観客から暖かい拍手が贈られます。そして最後にサンタクロースが患者さん一人一人にプレゼントをお配りして、1時間弱のクリスマスは終了します。

たずさわるスタッフやボランティアによって行事の内容は毎年異なりますが、会場を包む温かい雰囲気は、いつも変わることなくそこにあります。それは患者さんやご家族のところが、この時間を大切にしたいと願う気持ちで溢れているからだと思います。ホスピスマインドの中心にいるのは、やはり患者さんです。患者さんが喜んでくださることで、ボランティアもまたたくさんのプレゼントをいただき、明日からの活動の力にさせていただいています。



### 病院敷地内にある植物シリーズ③ 「梅」

薔薇（ばら）科の樹木

ひとことで梅といっても、大変多くの品種（300種以上）があります。中国または台湾の原産と言われてはいますが、はっきりとしたことはわかりません。日本には奈良時代の遣隋使か遣唐使が持ち帰ったという説が有力です。

梅は冬を越え、最初に咲く花です。病院にある梅も、冬の終わる頃に小さなかわいいつぼみをつけてくれます。このつぼみを見つけると、春が近いことを感じ、温かい気持ちになるのです。

雪見れば、いまだ冬なり、しかすがに  
春霞立ち、梅は散りつつ  
(万葉集：作者不明)

#### 明日葉の会へのお誘い

明日葉の会は、愛知国際病院ホスピスで大切な家族の看取りを経験した方々が集まり、思いを声に出し、分かち合う会です。「明日葉」という植物は、今日摘んだ芽が明日には伸びてくるといほどの生命力の強い植物で、それにあやかり会の名前としました。家族を看取られてから半年以上を過ぎた方を対象として、偶数月の第3土曜日午後2時から4時、病院の一室をお借りして集いを行っています。続けて来られる方も、間を空けて来られる方もおられますので、ご都合がつく時に自由にご参加ください。詳しくは世話人（家族代表）の太田博文までお問い合わせ下さい。

連絡先 〒470-1153 愛知県豊明市前後町三ッ谷1277-3 太田博文  
TEL 0562-92-2294 Fax0562-92-8294 E-mail h-ohta@pop21.odn.ne.jp

#### 賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実（施設環境、造園、園芸）、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。（ご入会いただいた方には年4回発行の病院だより「みなみやま」と年2回の本誌をお送りいたします）

#### 入会方法

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

一口1000円（おいくらでも結構ですが、できましたら5口以上でお願いいたします）